

IEI

◆◆ 東野便り ◆◆  
HIGASHINO DAYORI04  
学校法人  
盈進学園 東野高等学校  
総務部

## 【その真意はどこにあるのでしょうか】

東野高等学校 校長 北村 陽子

謹啓

盛夏の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症は、そろそろ落ちつく頃かと思いましたが、また感染者数が増えつつあります。3年ぶりに開放的な夏を過ごせるかと期待した矢先ですが、今しばらくはコロナ感染防止を意識した生活を送らねばならないのが現状でしょう。

今年度は、誰ひとり取り残さない学校を目指し【発信・安心】をテーマに掲げスタートし、謙虚さは教養であるとの思いを見失わずに感性を育てたいと考えて過ごしてまいりました。

【発信】とは、考えた時その真意はどこにあるのか、さらに人々に同じ方向性で受け取られているのか、悩ましいと感じることが多々あります。感じ方の幅や強さには個人差があって当然でしょうが、真意としての向かうベクトルはぶれずに持ちたいものです。

かねてより私は、生徒たちに絵本を読んでほしいとの考えを持っておりました。絵本は小さな子どものものと思われがちですが、経験を重ねたのち読み議論することによって、感性の磨かれ具合の違いに気づき、生きる養分を補給することにもなるはずだと思ふからです。先日私が再度読み直した絵本のあらすじを載せておきます。

『おおきな木』（シェル・シルヴァスタイン／あすなろ書房）

リンゴの木と少年はお互いに気持ちを通わせる友だちでした。

木は少年のことが大好きです。少年も木のことが大好きでした。

リンゴの木と少年は、木登りをしたり、かくれんぼをしたりして一緒に遊びました。

でも、少年は大人になるにつれて木から遠ざかっていきます。

ある日、成年になった少年は「物を買うのにお金が必要だ」と言って木を訪ねます。

木は少年のことが大好きなので、自分に成ったリンゴを街に持って行って売るように言います。

少年は、ありったけのリンゴを持って行きました。

そして、年月が流れたある日、大人になった少年は「僕に家をちょうだい」と言って木を訪ねます。

木は少年のことが大好きなので「私の枝を切って家をつくといいわ」と言います。

少年はありったけの枝をもって行きました。

ある日、さらに歳を重ねた少年は「ぼくを遠くに運んでくれる船をちょうだい」と言って木を訪ねます。

木は少年のことが大好きなので自分の幹を切って船をつくるように言います。

少年は、幹を切り倒し持って行きました。

それで木は幸せに・・・なんてなれませんか。

そして、さらに年月が流れたある日、老人になった少年は「腰を下ろして静かに過ごせる場所があればいいんだ」と言います。

木は少年のことが大好きなので、自分の古い切り株に腰掛けるように言います。

そうして木は幸せでした。

学校法人  
盈進学園 東野高等学校〒358-8558 埼玉県入間市二本木112-1  
Phone 04-2934-5292(代表) Fax 04-2934-4665EISHIN GAKUEN  
SCHOOL FOUNDATION HIGASHINO HIGH SCHOOL112-1 Nihongi, Iruma City, Saitama Prefecture 358-8558 JAPAN  
Phone +81-4-2934-5292 Fax +81-4-2934-4665

その木の真意はどこにあるのか、生徒たちと語り合えたら楽しいだろうなと思っています。

人とかかわりの中で、その真意は何かと思うことが度々ありますが、その都度考える根底には、やはり東野の建学の精神《知識は第一の宝・品行は最高の美・忍耐は無上の力》が礎となっているようです。

また、毎年1学期の終業式には「平和について考える夏」にしてくださいと伝えていますが、今年度はいつも以上にそのことを考えてほしいと思わずにはいられない出来事が重なるように迫ってきています。1学期をしっかりと振り返り2学期へと歩みをつなげて行ってほしいものです。

●昨年度から始めた **誰ひとり取り残さない学校を目指し 東野 SDGs** 今年も進み始めています。1年生は玄関道の舗装を昨年度から引き継ぐクラス、2年生は北海道の修学旅行をどう結び付けようかを考えながら事前学習に入っています。3年生は、もちろん東野 SDGs を考えながらも、各自の進路に深く考えを巡らせています。それぞれが東野 SDGs の真意はどこにあるかを考えながら進んでいくことでしょう。

●英検週間については、東野の学びとして完全に定着はしています。今年度は、3年生も6月の英検に向けて英検週間で特訓をして受検し、かなりの合格率を示しました。このことで大学受験でのアドバンテージも高くなりました。

●教育実習期間には、今年度4名の卒業生を教育実習生として受け入れました。大きく成長して母校の後輩たちの前に立つ姿は頼もしく感慨深く見つめました。お礼の手紙の中には「教師に成りたい気持ちが一層強くなりました」と書かれており、こちらが励まされているようにも感じました。

●携帯電話使用規定を改定し、休み時間も使用できることとしました。危惧していた混乱はまったくと言っていいほどなく、規律正しく使用しています。変化についてこられる人は、学ぶことを怠らない人であるとする、「知識は第一の宝」に基づいているのでしょうか。

●体育祭は、今のところ本校でしかありえないであろう形式で実施し、応援は配信型で行いました。その日は、梅雨の晴れ間の絶好の体育祭日和であり、気持ちの良い一日でした。競技が終わりインタビューを受ける生徒は、必ず感謝の言葉を口にしていました。それも気持ちの良い日となる理由だったかもしれません。

●体育祭の日は、沖縄慰霊の日でした。今年は沖縄本土復帰50年の節目の年でもあります。平和について考えるきっかけの一つになり、そこから平和を考える夏に繋がることを望みます。

●ひまわりの定植について、1、2年生はひまわりの苗をひとり一苗定植しました。このことは、創立記念日に寄せた東野便りでも書かせていただきましたが、ひまわりはウクライナとロシアの国花であり、『世界平和への祈りを一つに』との願いを込めました。8月ごろから2か月間ほど咲き続けるようです。

●各部のこの夏の大会に関しては、野球部は初戦突破出来ませんでしたが、諦めない戦いを見せてくれました。この後、ダンス部・文芸部は全国大会が控えています。サッカー部も連日のように試合ですし、吹奏楽部は7月28日がコンクールです。

●夏休み中には、校内環境整備といたしまして4教室の改修と旧食堂のイノベーション計画に入ります。旧食堂は、生徒の学校生活にとってより有効的な利用はと考えて改修いたします。

●9月10日(土)・11日(日)には文化祭が行われる予定です。一般公開については、コロナウイルス感染症のこともありますので、今しばらくお待ちください。

最後になりますが、有意義な夏を過ごせるようご家庭でもご指導ください。そして、今後ともよろしく願い申し上げます